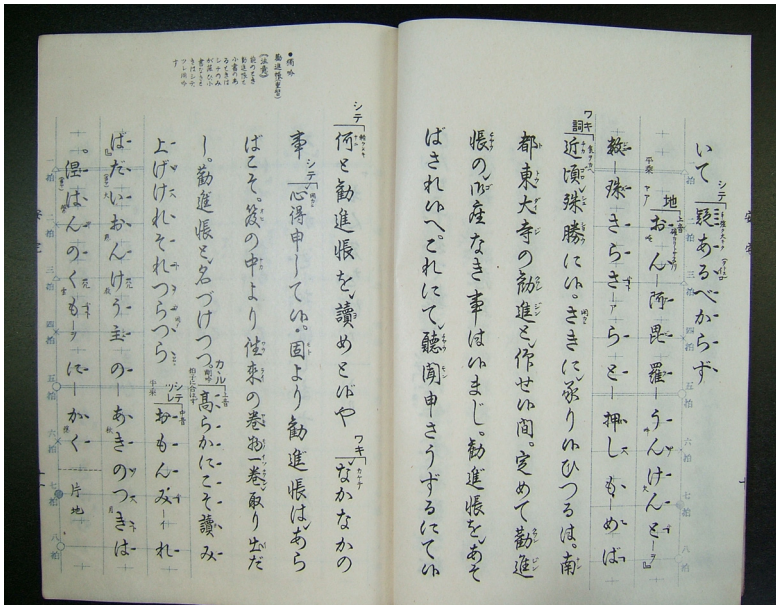
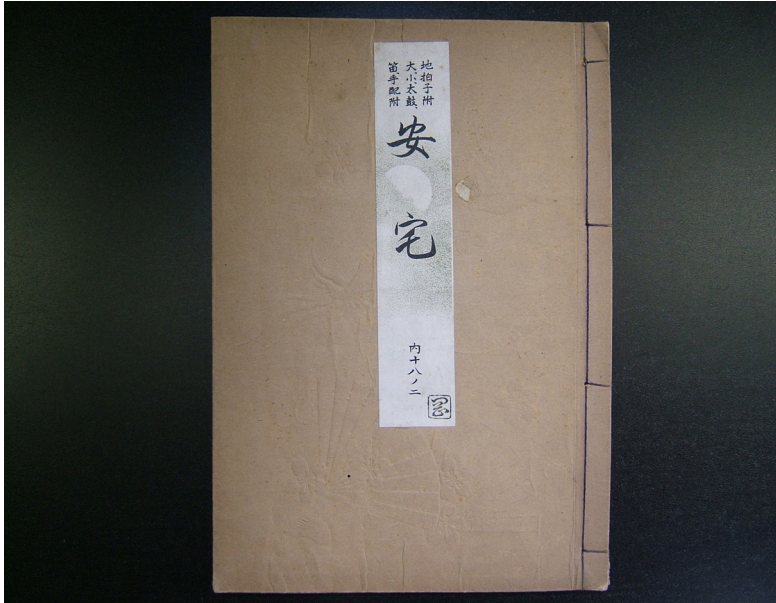


田崎延次郎 『大正十五年六月檜常之助刊地拍子附謡本「安宅」』

写真下は、シテとツレが勸進帳の同吟に入る箇所である。読み物の「おもんみれば」からが、八拍子に割り付けられている。勸進帳の割り付けは、山崎楽堂の『地拍子精義』（35頁）の「五版の序」（大正五年）に「三流を対照せる三読物の拍子割付登載を実現せり」とあるが、それから五年後、田崎はそれを謡本の中に統合したわけである。『地拍子精義』に示される割付けとトリ、片地の取り方に小異あり。



標題 内題…安宅

標題紙…

奥附…

その他…安宅（柱）、地拍子附大、小、太

鼓、笛、手配附 安宅 内十八

ノ二（題箋）

著者 奥附…田崎延次郎

その他の場所…

出版 版次…第一版

出版地…東京

出版社…檜大爪堂書店

出版年…大正15（1926）

その他の場所…

形態 冊数…一冊 頁数…二四丁

寸法…23×16（cm）

状態 写本版本の別…版本 現物複写の別…現物

備考